

工事写真の撮り方・留意事項等

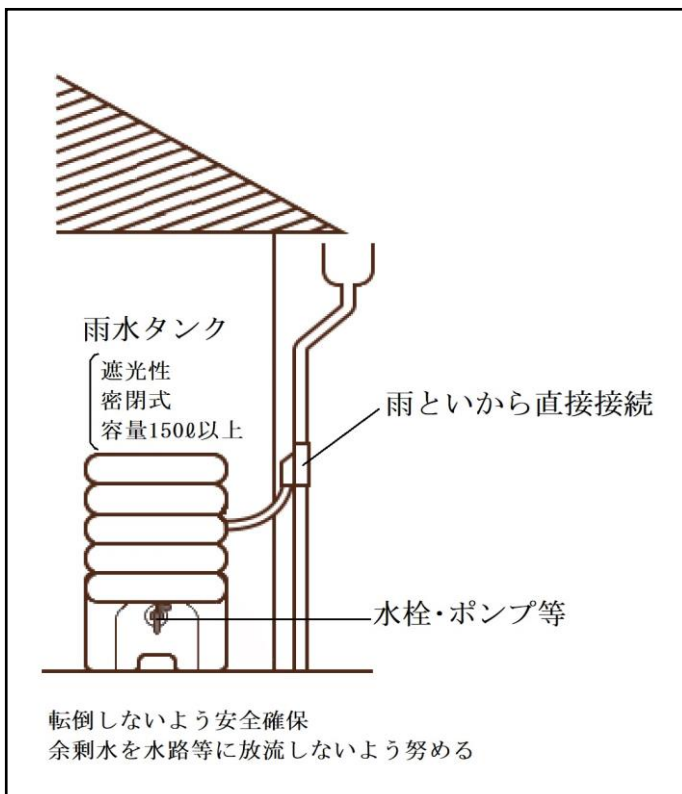
1 雨水タンク（雨水貯留施設）

設置前	設置後
<p>写真の撮り方</p> <ul style="list-style-type: none">・設置前の場所の写真を撮影する。・建物の外壁等周囲の状況がわかるように撮影する。	<p>写真の撮り方</p> <p>雨とい加工した箇所まで含めて撮影する。</p>
<p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none">・建築物の安全に配慮した場所であること。・周囲の構造・境界に悪影響のない場所とすること。・雨といから直接接続できる場所とすること。	<p>留意事項</p> <p>雨水タンクが転倒しないよう安全を確保すること。</p>





仕様・維持管理等



- ・貯留容量は150リットル以上とすること。
- ・堅固で耐久性を有し、蓋等で密閉できる構造であること。
- ・遮光性を有すること。
- ・水栓、ポンプ等を備えていること。
- ・雨水タンクの水は飲み水としないこと。
- ・定期的にタンク内を空にして清掃すること。
- ・降り始めの雨水は屋根の汚れ等を含んでいるため、それを除く装置をつけることが望ましい。
- ・余剰水は、水路等に放流しないよう努めること。

施工標準図



2 浸透ます（雨水浸透施設）

<p style="text-align: center;">着工前</p>	<p>写真の撮り方 製品や使用する材料を設置場所に置いて撮影する。</p> <hr/> <p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築物の安全に配慮した場所であること。 ・周囲の構造・境界に悪影響のない場所とすること。 ・周辺のがけ、よう壁等に悪影響のない場所とすること。 ・雨水の浸透効果が見込める場所とすること。 	
<p style="text-align: center;">掘削</p>	<p>写真の撮り方 奥行・幅が600mm以上、深さが700mm以上であることがわかるようスケールをあてる。</p> <hr/> <p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地山状態を可能な限り保護し浸透能力を損なわないよう配慮すること。 ・掘削、透水シート設置、砕石敷設、ます設置作業は、原則として晴天時に行い、降雨等で掘削面が乱れないよう施工当日の完了に努めること。 	
<p style="text-align: center;">透水シート設置</p>	<p>写真の撮り方 シートの設置状況がわかるように撮影する。</p> <hr/> <p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・透水シートは腐食しにくく砕石の投入、敷き均し等で破損しない強度を有するものを使用し、シートの継ぎ目は隙間ができないよう、串、番線等で固定するとよい。 ・掘削、透水シート設置、砕石敷設、ます設置作業は、原則として晴天時に行い、降雨等で掘削面が乱れないよう施工当日の完了に努めること。 	
<p style="text-align: center;">砕石敷設</p>	<p>写真の撮り方 深さ200mm以上であることがわかるようスケールをあてる。</p> <hr/> <p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・砕石は単粒度砕石（4号：30～20mm）を使用すること。 ・掘削、透水シート設置、砕石敷設、ます設置作業は、原則として晴天時に行い、降雨等で掘削面が乱れないよう施工当日の完了に努めること。 	

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">ます設置</p>	<p>写真の撮り方 砕石が外径の150mm以上入っていることがわかるようスケールをあてる。</p> <hr/> <p>留意事項 掘削、透水シート設置、砕石敷設、ます設置作業は、原則として晴天時に行い、降雨等で掘削面が乱れないよう施工当日の完了に努めること。</p>	
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">完了</p>	<p>写真の撮り方 埋め戻し後に写真を撮影する。</p> <hr/> <p>留意事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埋め戻しに当たっては、埋め戻し土砂等が充填した砕石部に入らないように透水シートの設置状況を点検すること。 ・砕石上部の埋め戻しは100mmとし、沈下のおそれのない埋め戻し材を使用すること。 ・転圧は、設置した浸透ますに影響がなく、地山の浸透能力を損なわないよう慎重に行うこと。 	

全体をとおして

- ・ 施工の状況がわかるよう各工程において看板を写すこと。
- ・ 2箇所以上設置する場合は、各工程の写真は1箇所分の撮影として差支えない。ただし、完了の写真は全箇所を撮影すること。

仕様・維持管理等

- ・ 内径300mm以上のコンクリート製または樹脂製で蓋つき構造の市販製品とする。
- ・ 浸透ますの周りには砕石4号を充てんし、その周りには透水シートを設けること。
- ・ 土砂、ごみ等が堆積し浸透機能が低下することがないように定期的な清掃を行うこと。
- ・ 余剰水は、水路等に放流しないよう努めること。

施工標準図

